

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	はーとラーニングプレイス（ほっとはーと）	公表日	R7年3月26日		
事業所名	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	現在、学年と性別に合わせた5グループあります。グループごとの教室の設置と、各活動に合わせた活動スペースは今後も計画的に考え、取り組んでいきます。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	活動時間を30分単位で区切り、施設内の体育館やシアタールーム、カラオケ室、中庭などグループ単位で活動を分け、スペースを確保しています。職員については、児童指導員を持つものほかほとんどで、それに加え、保育士、介護福祉士、社会福祉士などの専門的な資格を持つ職員が対応しています。基本的には法的な基準（子ども5名に1名、職員1名）は満たしています。そのうえで、マンツーマン対応を要する児童もおりますので、適宜対応している状況です。	基準人員は足りていても、実際に支援するときには人手が欲しいと感じる事がある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	学年と性別に合わせて、5グループあります。グループごとの教室の設置と各活動に合わせた活動スペースは今後も計画的に考え、取り組んでいきます。必要に応じて、クールダウン室も使用可能となっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	生活するグループは人数や体格にも対応した状態になっていると考えます。清潔を保つためにも換気をし、毎日の終了時にそうじをしています。活動時間を30分単位で区切り、施設内の体育館やシアタールーム、カラオケ室、中庭などグループ単位で交代で活動出来るようにし、スペースを確保しています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	はい、なっております。個別的に静養するベットの確保もしております。クールダウン室の利用も可能となっております。	
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	業務会議などで振り返りを行っています。また、研修などを実施し、外部の講師から学ぶ機会も定期的にあります。	振り返りをして改善されない事もある。素早い対応だけでなく、自分たちの成長につながる糧として、経験を重ね、成長すべきである。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	4	常に迅速に対応する事を心掛けております。職員が声を受けた時点で、施設長に報告をし、対応しています。職員に対しては、会議内で問題点としてあげ、内容と対応を周知しています。当該施設ではサービスの質の向上のため、苦情やご意見を貴重なお声として、参考にさせて頂いております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	職員からの意見についても、毎日の会議の中で、参考にしたり一緒に考えたりする場面があります。子どもと日々の関わりや特性について、一貫性のある対応を必要とするお子さんについては、手順書を作成したり、対応の仕方についてもすべてのスタッフに情報共有を行い、安定したサービスを提供できるように努めています。一人の職員が過度に負担が掛るようになりたくないようになっています。	職員が経験を重ね、定着して、長く勤めて戦力になってくれることが今の課題である。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	常に迅速に対応する事を心掛けております。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	開所当時から外部講師を依頼し、月に一度、研修を行っています。	
業務改善	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	ホームページ上にも公表しています。個別支援計画書についても、説明と同意を頂き、その内容については相談支援専門員への共有も実施しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	会議で児童発達支援管理責任者が主導で動き、定期的に個別支援計画の見直しに係るモニタリング会議や担当者会議を行っています。また、日々の関わりや特性について、一貫性のある対応を必要とするお子さんについては、手順書を作成したり、対応の仕方についてもすべてのスタッフに情報共有を行い、安定したサービスを提供できるように努めています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	職員間での共有が行われています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	ミーティングの際に情報共有と個々の児童に対するアセスメントを行う場を持っています。	アセスメントはしているが、今の現状で足りているとは思わない。ただ、業務の負担と照らし合わせて行う必要がある。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	放課後等デイサービス計画に、各支援項目に対応する具体的な支援内容が明記されているか確認します。必要に応じて、各支援が相互に連携し、子どもの成長を総合的に支援する視点が含まれているか検討します。	担当者会議やモニタリングのほかで、特に家族支援の項目や、将来の卒業のタイミングの移行支援ではより具体的な支援内容の検討をし、早い段階で目標として取り組めるように注意していく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	上記で確認した各支援のねらいと支援内容を踏まえ、放課後等デイサービス計画に記載されている支援項目が子どもの発達や特性、ニーズに適切に対応しているか評価し、活動のプログラムが具体的な支援内容とリンクしているか確認し、チームで共有しています。そのうえで、週間スケジュールなどを立案し、固定化しない様に工夫しています。	個別の対応ばかりではなく、集団で活動する事が多い中、特性をそれぞれに持っているお子さんをお預かりしております。開所当時から現在までの経験を経て、活動がコロナと変わると、子供たちの混乱を招くことがあります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		
適切な支援の提供					

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	個別的な対応が必要な子供、もしくはタイミングを見極め、その都度個別支援を行っています。	活動の種類や時間が枠となり、安全な空間として穏やかに過ごす事に繋がっていると考える。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎日、業務開始前にはチーム（グループ）で打ち合わせ、ミーティングを実施し、共通の認識で支援を行っています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	終了後（翌日の朝のミーティング）には、会議で前日の支援内容、子どもの状態、家族の様子、学校での様子などを共有し、支援内容についての検討をしたり、情報の共有を行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	はい、実施しています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	定期的にモニタリングを行って見直しを適宜行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	1	活動の内容はチームで検討したものを提供していますが、その中で小さな支援を場面場面で作り、自己決定のチャートを作っています。普段の生活の中で選択する事象につけ、年齢や学年が上がって卒業する際に、大きな選択が出来るように支援しています。	意思決定支援の基本的な考え方を職員で研修しながら、小さな選択を積み重ねられるように支援を続けていく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	はい、実施しています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	はい、参画しています。 (児童発達管理責任者・各グループのリーダーなど)	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3	はい、実施しています。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	学校とのやり取りや保護者とのやり取りは比較的スムーズに入っています。各学校が年間行事表をくれたり、学校の共有アプリを入れて、緊急連絡が入るようになっています。	通足や始・終業式、入・卒業式などイレギュラーの時間での送迎時に行き違いがないように保護者や学校と連携を続けていく。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	主には相談支援専門員さんからの情報をもとにしますが、必要に応じて情報共有します。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	主には相談支援専門員さんへの情報共有を実施しますが、必要に応じて担当者会議を行ったり、情報共有をしています。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや研修を受ける機会を設けているか。	1	8	地域の児童発達センターとの連携は今のところ、経験がなく、特にスーパーバイズや助言を受ける機会はないです。	今後の課題として取り組んでいく。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	地域中の施設に出ていく事があるが、直接的に接点があるわけではないのが現状です。	特性によるが集団行動が苦手な子もいるため、小集団での関わりの方が持てるようにセッティングしていく必要がある。
33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	はい、参画しています。	自立支援協議会については宮崎県の方からも研修等で言われているため、重要項目として認識している。積極的に参画していく。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	ご家庭によりけりなところもあるが、積極的にコミュニケーションを取る努力をしています。	会議の場としてだけでなく、日常からコミュニケーションを取って、情報共有をしていく。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	排泄のカレンダー、入浴のカレンダーなどをご家族につけてもらっている。排泄コントロールの不十分な子について、そのカレンダーをもとにお薬を飲むタイミングを話し合っている。	今後の課題として、ゲームやネットなどの依存症についてご家族と検討したいと考えている。（共通のルールや課金の危険性など）
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	はい、実施しています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	主に、担当者会議やモニタリングの機会に、お話しする事が多いですが、出来るだけ、コミュニケーションをとる機会を持っています。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービスの計画の同意を得ているか。	9	0	はい、実施しています。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	はい、実施しています。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8	1	保護者向けの説明会はご希望のある高校生ご家族を対象に行っています。生活介護事業とB型事業・就労先の見学をしていただいております。	今後の課題として、年に一度の祭り（はーとミュージックフェスティバル）だけでなく、保護者の方が参加できるイベントや参観日のような行事も企画してまいります。

関係機関や保護者との連携

保護者への

説明等						常に迅速に対応する事を心掛けております。職員がお声を受けた時点で、施設長に報告をし、対応しています。	職員に対しても、会議内で問題点としてあげ、内容と対応を周知しています。当施設ではサービスの質の向上のため、苦情やご意見を貴重なお声として、参考にさせて頂いております。
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1			毎月のお便りと4月には年間予定表・月々のカレンダーで、活動の情報発信をしています。はーと介護のホームページ上にもいろんな情報や活動の様子がアップされています。	更新回数を上げ、最新の情報やブログを更新していく。
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1			個人情報については、個別にファイリングしカギのついた場所に保管しています。パソコンはセキュリティ対策もしており、メールやFAXなども誤送信がないよう、細心の注意を払い取り扱っています。	
43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	9	0			子どもに対しては絵カードや視覚的な情報として入りやすく配慮しており、保護者さんには、連絡帳や電話、口頭での情報伝達を中心に、保護者との密な意思の疎通や情報共有を図ります。	
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1			はい、心がけています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関われた事業運営を図っているか。	8	1			最低でも、年に2回（5月・11月）、火災・地震・土砂災害を想定した避難訓練を行っております。避難訓練の時期については、カレンダーや年間の行事計画表を配布しております。	災害はいつ起こるか分かりません。適切な対応が取れるように、保護者の皆様が安心してお子様をお預け頂戴するように努力していく。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1			自然災害発生時における業務継続計画と感染症発生時における業務継続計画を作成しています。また、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルの周知・説明の徹底を図ります。	保護者やご親族との緊急時の確実な連絡体制の確立を来年度に向けて目指す。
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0			はい、確認しています。	
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0			緊急時の対応を個別にマニュアルにしております。	
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0			はい、対応しております。	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0			最低でも、年に2回（5月・11月）、火災・地震・土砂災害を想定した避難訓練を行っております。	
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2			現状も連絡先の確認などはできていますが、緊急時（地震・津波）の連絡ツールを来年度に向け、確立し、周知していきます。	緊急時（地震・津波）の連絡ツールを来年度に向け、確立し、周知していきます。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0			はい、委員会もあり、全事業所で共有し、リスク管理しています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0			はい、虐待委員会があり、全事業所で共有し、リスク管理しています。また、定期的な研修を行っています。	最新の研修や情報を共有していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0			はい、実施しています。個別支援計画書にも追記し、説明と同意を得ています。	
非常時等の対応							